

救急看護認定看護師

- 救急患者は、時と場所を選ばず、いつでも何処でも発生します。このような患者さんに接する場合、患者さんの緊急度や重症度を観察して即座に判断し、急激な変化に即応した看護が必要とされます
- 救急看護とは、あらゆる状況下で、生命の危機に直面した患者及び、その家族の身体的、心理的反応に対して看護を行います

【現在の活動】

患者ケア・救命医師及び各診療科主治医とのカンファレンス・定期回診の実施(呼吸ケア・創傷ケア・リハビリ・NST) 事後検証

・トリアージ

・患者急変に関わる事例検討

院内・院外研修・重症患者ケア・気管カニューレ閉塞時対応・BLS・ACLS・ICLS・JTAS・ファーストエイド・災害時対応・急変対応・急変気づき・急変患者の臨床推論

メンバー紹介

山崎 早苗

私は、中央手術室で看護管理者として勤務しており、サブスペシャリティーの呼吸管理に関するを中心に、実践及び教育活動をしています。また、特定看護師の役割を活かしつつ多職種で連携し患者中心の看護を提供していきます。「看護を説明する」ことが出来る認定看護師として、病院前から患者さんの退院後を見据えた看護を考えて行きたいと思います

和平 正子

私は救急看護のなかでも、初療看護・院内トリアージ・急変対応に関する看護実践及び、教育活動に取り組んでいます。日々の看護において私は、「気づき」の看護を大切にしています。認定看護師として、この気づきにこだわりを持ちながら、「何か変!」何が変!」に変えていく看護の思考プロセスを大事に、患者さんの状態を予測した看護展開ができるよう、看護スタッフと共に看護実践に力を入れていきます

峯山 幸子

私は、命の最前線で看護の力を発揮できる救急看護が大好きです。現在はフライトナースの実践、教育や Preventable Death(防ぎ得た死)を予防するための実践、教育活動を行っています。患者さんの一生に関わる急性期看護にプライドを持ち、結果の出せる看護を目指します

中嶋 康広

私は初療看護・院内トリアージ・院内急変や救急に関する標準化教育活動に取り組んでいます。日々の看護においては、患者さんが退院できるためには何が必要か、何ができるか日々の変化を気付き、患者ケアに活かすことを大切にしています。認定看護師として、この気づきを大切に、救急領域だけにとらわれず、地域へ帰る患者さんに必要なケアが行えるように他職種との連携を行ないケアの提供をしています

メンバー紹介

杉本 悠輔

私が、看護師として大切にしていることは、「患者主体の看護」の実践です。救急搬送される患者さんやその家族が抱える問題に対して真摯に向き合い寄り添える。そんな看護師でありたいと思います。救急医療に求められる役割は、日々、大きくなっています。常に「看護とは何か」を自問自答し、私たちが実践する看護を分かりやすく説明できる。そして患者さんへ実践する看護が確かなものであるために努力を続けます

丸山 橘子

私が常に大切にしている事は、相手の価値観を認める事です。患者さんや家族そして医療者も最大限の能力を発揮出来るように貢献していきたいと思っています。救急看護の様々な役割の中で私は「トリアージの実践・教育」と「気づきの実践・教育」に特に力を入れています。看護とは何かと聞かれた時に語れる看護師を目指しています

宮崎 美穂子

私は、突然病気を発症した患者さん、家族に何ができるのか日々自問自答しながら看護ケアを実践しています。看護ケアを言葉にしてスタッフに伝え、ケア実践することで看護の質を高めることができると考えています。またストーマ認定士として、管理方法や装具の選択をWOCナースと協働して活動をしています

鈴木 隼矢

私は、常に変化し続ける救急の現場で、患者さんとその家族に何ができるかを考えながら看護を行っています。患者さんの些細な変化を見逃さないスタッフ育成も必要と考え、教育活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。患者さんが一日でも早く生活者として地域に戻るための医療・看護に貢献していきます

メンバー紹介

原 貴美子

私は、命の危機に突然直面した患者さん、ご家族の方の思いや価値観に寄り添い危機状況から脱することができるような看護を行っています。救急看護領域では、院内トリアージや気づきの実践・教育に特に力を入れ、迅速で安全な医療の提供が行えるよう力を入れて取り組んでいきたいと考えています

宗兼 由佳

私は、主に時間外外来・初療室で患者さんの看護を行っています。意識状態が悪く苦痛や思いを訴えられない患者さんが多く来院されています。その患者さんの「声にできない声」を五感で感じ取り、患者さんや家族に寄り添いながら1番のよき理解者であることを心がけて看護実践を行っています

北嶋 佳織

私は、救急の現場で小児から高齢者の各領域に特化した看護に携わっています。各領域に渡る患者さんの特徴を把握し、異変に気づき、急変を予防する看護を行なっています。患者さんの異常の早期発見、早期介入ができるように、常に急変を予測した看護を実践していきます

友枝 由依

私は、常に変化し続ける救急の現場で、患者さんとその家族に何ができるかを考えながら看護を行っています。患者さんの些細な変化を見逃さないスタッフ育成も必要と考え、教育活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。患者さんが一日でも早く生活者として地域に戻れるための医療・看護に貢献していきます